

かぬま文化

つくるう 伸ばそう 鹿沼の文化

No.172

発行人 鹿沼市文化協会
発行責任者 会長 鈴木 貢
編集委員会 委員長 黒川 榮三
印刷所 晃南印刷(株)

令和4年度通常総会報告

2年ぶりの総会開催

令和4年度通常総会は、5月21日(土)鹿沼市民文化センター大会議室にて、手指消毒の徹底や参加人数を制限するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて開催しました。

来賓には、佐藤信市長をはじめ、大島久幸市議会議長、松井正一県議、木村剛考商工会議所会頭、福田義一副市長、市議会教育福祉常任委員会の宇賀神敏委員長、鈴木紹平副委員長、教



鈴木貢会長あいさつ



総会の様子

育委員会から中村仁教育長、そして協会の福井辰次参与、西山義信参与のお二人、併せて10名のご臨席をいただきました。

総会は、鈴木貢会長が挨拶し、本年度の鹿沼市文化協会文化功労者の表彰を行いました。永年のご尽力を讃え、鹿沼市書道連盟の兼目悠久さんと日本舞踊藤扇流の篠原敏江さんに、表彰状を授与いたしました。

次に来賓を代表して佐藤

市長、大島市議会議長、松井県議会議長からご祝辞をいただきました。

議事進行については、高岡正之常任理事を議長として、令和3年度事業報告、決算報告と令和4年度事業計画、予算計画及び役員改選の議事が審議され、全て承認されました。

また、総会前に1階の「美を楽しむ空間」にて、茶道

鹿沼市文化協会 通常総会



会員表彰 兼目悠久さん(左)篠原敏江さん(右)

また、総会前に1階の「美を楽しむ空間」にて、茶道



呈茶席

事務局 福田由子

部会の皆さんにより呈茶席を設け、たくさんの方におもてなしをしていただきました。

総会開催前の呈茶開設については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を事前に検討し、役員や会員の皆様のご協力により開催できましたことに、心より感謝申し上げます。

報告といたします。

生まれて間もない随筆の会です

すいひつの杜 代表 大野 比呂志

この度、鹿沼市文化協会に仲間入りをさせていただき、きました随筆を書いている

者の集まりです。よろしくお願いたします。随筆に親しんでいる人た

目次

令和4年度通常総会報告	1
すいひつの杜	1
華道龍生派	2

茶道部会	3
フラワーデザイン部会	3
鹿沼市民文化祭開催日程	4
編集後記	4

ちが集まって、珈琲を飲みながらおしゃべりを始めてから十年ほどになるでしょう。初めのころは、宇都宮に集まっていた。しかし、今は会場を鹿沼に移し、仲間の親睦を図りながら随筆の勉強会のようなことをして、今日にいたっています。

回を重ねるうちに随筆誌を興そうかという話になり、一年ほど前から準備を進めてまいりました。十六、七名の会員が集まり、誌名も『すいひつの杜』と決まりました。

会員は、市外や県外の方もいらつしやるのですが、協力的な方が多く、準備の進み具合は順調でした。随筆誌の題字は、日展入選を果たされている山形県在住の書家をお願いしたところ

です。

『すいひつの杜』の会員の中には、「日本随筆家協会」の会員であった方も複数いらっしゃいます。文化協会の今年の研修旅行は、

渋沢栄一記念館もコースの一つですが、「日本随筆家協会」を設立されたのは、渋沢栄一氏ご子息の秀雄氏です。

十年ほど前に区編集長が亡くなられて、『月刊すいひつ』が廃刊となり、『すいひつ日本』に引き継がれました。残念なことにそれも今年をもって休刊となつてしまいました。

そんなわけで、『すいひつの杜』の何人かの会員さんにとっては、何としても随筆の灯を守りたいとの気持ち強くしているところなのです。

始めたからには、会員一同の長い活動をこころがけて頑張ろうと思っておりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



つくろう のばそう 鹿沼の文化

第44回

鹿沼市民

Cultural Festival No.44

文化祭

2022(令和4年)9.24_土 ~ 12.11_日

第44回鹿沼市民文化祭開幕式アトラクション
鹿沼市文化協会第12回文化セミナー

鹿沼が生んだドラマ原作で注目の若手作家
——「ネメシス」「脅迫屋シリーズ」で話題！

ふじいし なみや
藤石波矢トークショー

令和4年9月24日(土)

開場13:00/開演13:30 鹿沼市民文化センター小ホール

入場無料
(整理券)

整理券
配付場所

- ・文化協会事務所(文化センター3F)
- ・鹿沼市民文化センター受付
- ・鹿沼市民情報センター受付
- ・鹿沼市立図書館本館受付

整理券
配付時期

令和4年
8月3日(水)~

〈文化セミナー主催〉鹿沼市文化協会/栃木県文化協会



イベントの詳細・
参加者募集については
コチラから！



※新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止及び変更の場合があります。

コロナ禍の中で

コロナ禍で、様々な活動
が不自由になり、華道部会
に於いても例外ではなく、
令和2年は何もできずに、
コロナの嵐が過ぎ去るのを
ただ静かに祈っておりま
した。

昨年は、コロナの顔色を
伺いながら市民文化祭華道
展の準備を進めていきまし
た。しかし、結局ギリギリ
になって中止になりました。
2年続けて何も活動が
なく、唯一、華道部会員の

華道龍生派 福田 玖鳳

皆が無事に元気に過してい
る姿が慰めでした。

そのような時、市議会議

場に花を活ける活動が3カ

月に1度、有志4名の持ち

回りで行われました。令和

2年は旧議場でしたが、令

和3年の途中から新議場に

移りました。木の香清々し

い広い議場に心が躍りま

す。4名それぞれが、その

季節の特徴ある花材を見事

に活け上げました。私も令

和3年の3月と12月に活け

させて頂きました。3月は

桜をテーマに、12月はクリ

スマスをテーマに活け込み

をしました。皆さんの気持

ちが少しでも明るくなるよ

うにと。

本年度、令和4年は何と

しても文化祭華道展を開催

したいと皆張り切っていま

す。きつといつにも増して

良い作品の展示ができると

思っています。明るくて、

楽しくて、心がウキウキす

る様な、コロナを忘れさせ

る華道展を目指します。



鹿沼市の議場に

鹿沼市民文化祭出品作品



鹿沼市さつき祭り開催の茶会

コロナ禍のために、茶会が開かれず、稽古の方も状況により休んだり、再開したりの繰り返しでしたが、鹿沼市さつき祭りが開催されることで、5月29日(日)掬翠園で懸釜となりました。本床に「岸柳緑如藍」を掛けることにして、道

茶道部会 鈴木 宗富

具組に頭を悩ませ、やつと季節を中心に決めて、コロナ感染防止のため、お客様の人数を少なくし、水屋の道具も使い切りを多くして、使いまわしをしない様に準備しました。

当日はにわかには夏日となり、熱中症を心配するほどでしたが、緑の木々に囲まれた掬翠園内にある慶雲郷は涼しく、茶会を待ち望んでいたお客様は、市内外から多く訪れてくれました。

久しぶりの茶会に心を躍らせ足を運んでくれた茶の友は、会えた喜びや親しく会話をできた気持ちが表情に表われていました。それが、私どもにも伝わり、心配した気持ちを忘れさせてくれました。学びの機会をえて、応援して下さった方々に感謝です。

茶席では、懐紙にのせたお菓子、茶会のテーマからイメージを思いめぐらせてくれます。そんな趣きの茶を楽しむことができる日が、一日でも早く来ることを願い、日々の稽古に精進したいと思っています。



2022.05.29



2022.05.29

掬翠園慶雲郷の茶会

花の力

フラワーデザイン部会 深井 芳恵

花は人間にとつて古くから特別な存在でした。日本には四季があり、花木を見てその季節を感じることが出来ます。梅の時、桜の時、菖蒲の時、稲穂、蕎麦の花、紅葉の時、それを見て人は感動します。フラワーデザインはそれらの草木に思いを込め、心を託してデザインし、アレンジして形に表します。

フラワーデザインの歴史は、紀元前3千年頃

エジプトの装飾品から始まっています。ギリシャ時代にはまだ花瓶に挿す風習はなく、リースを作って頭に飾る等でした。ローマ帝国時代になり一般家庭で花瓶に飾るようになりま

す。その後ヨーロッパでフラワーアレンジメントが流行し、独立したアメリカへも渡りました。日本には、第2次世界大戦後、70年以上前から伝承されている華道の先生方が、欧米

の本を片手に独学され全国に広まりました。華道もアレンジも「花を生ける心」は同じですから新しいデザインや技術を考えた努力、開拓精神、芸術魂に感服します。

さて、24回目を迎える

今年のフラワーデザイン展は10月15日から16日の2日間で行います。色とりどりの作品が文化センターふれあいの広場に飾られます。作者の思いや意図がみなさまの心にお届けできたら嬉しく思います。

また、私達は農林水産省の「国産花きイノベーション事業」にも携わり、市内の小中学生を対象に、毎年無料で「アレンジメント体験」を行っております。花とふれあうことで、豊かな心や花の楽しみ方を提案し、さらに県内で生産された花々の魅力を伝えていきます。思いを形にしていくフラワーアレンジ体験を「楽しかった」「またやりたい」と話す子どもたちの姿に、開催して良かった達成感を覚えます。



板荷小学校アレンジメント体験



フラワーデザイン展出品作品

第44回 鹿沼市民文化祭開催日程

◆開幕式
◆講演

9月24日(土)午後1時30分 鹿沼市民文化センター 小ホール
藤井波矢トークショー

部 会 名	期 日	時 間 (予定)	会 場
いちご一会歌謡会	10月 2日(日)	9:15~17:00	市民文化センター大ホール
演 劇 祭	10月16日(日)	11:00~15:00	市民文化センター小ホール
音 楽 祭	10月23日(日)	14:00~16:30	市民文化センター大ホール
民 謡 民 舞 大 会	10月30日(日)	10:00~16:00	市民文化センター大ホール
秋の舞踊まつり	11月 6日(日)	9:00~16:00	市民文化センター小ホール
謡 曲 大 会	11月 6日(日)	10:00~15:00	御殿山会館 和室
吟詠剣詩舞大会	11月23日(水・祝)	10:00~16:00	市民文化センター小ホール
バンドフェスト2022	11月27日(日)	12:00~19:30	市民文化センター小ホール
ダ ン ス	12月 4日(日)	12:30~18:00	市民文化センター大ホール
琴・三味線・尺八 三 曲 演 奏 会	12月11日(日)	13:00~15:40	市民文化センター小ホール
ギャラリ	日 本 画 展	10月14日(金)~16日(日) (16日16:00)	文化活動交流館ギャラリー
	書 道 展	10月21日(金)~23日(日) (23日16:00)	市民文化センター多目的ギャラリー
	心を耕す絵手紙展	11月11日(金)~13日(日)	文化活動交流館ギャラリー
	写 真 展	11月18日(金)~20日(日) (20日16:30)	文化活動交流館ギャラリー
	マンガ・イラスト展	11月25日(金)~27日(日) (27日16:00)	市民文化センター多目的ギャラリー
	洋 画・彫 塑 展	11月25日(金)~27日(日) (27日16:30)	文化活動交流館ギャラリー
生活文化	フラワーデザイン展	10月15日(土)~16日(日) (16日16:00)	市民文化センターふれあいの広場
	華 道 展	10月22日(土)~23日(日) (23日16:00)	文化活動交流館ギャラリー
	茶 会	10月30日(日)	市民文化センター大会議室・和室
文 芸	短 歌 大 会	10月10日(月・祝)	市民文化センター大会議室
	俳 句 大 会	10月10日(月・祝)	市民文化センター中会議室
	川 柳 大 会	10月16日(日)	市民文化センター多目的ギャラリー
	作 品 公 募	俳句・短歌・川柳・詩・創作随筆	
	文 芸 表 彰 式	11月27日(日)	13:30~ 市民文化センター大会議室

※新型コロナウイルスの感染状況により、変更・中止となる場合があります。

編集後記

つい先日、コロナ感染の第6波が収束傾向となり、ホッとしていたのもつかの間、アツと言う間にオミクロンBA・5の新派生株が、急速な勢いで感染拡大し第7波に突入しました。

日毎最高値を更新している現在、政府のウイズ・コロナ対策は、経済と感染防止を両立させたいと考慮したコンセプトですが、果たしてどうなるのか？

そのような中、ある新聞に「新型コロナの今後は？」と、見出しがあり、「数年かけて大・小の流行の波を繰り返す、季節性の風邪のような形に落ち着くのではないかとみる」との記事が掲載していました。残念ながら、しばらくはコロナ禍の時代が続くのは確かな事のように思えます。

今年の鹿沼市民文化祭も、コロナ禍の中での開催になると思われませんが、各部門が、今まで培った感染防止対策を駆使し、お互い連携を取り、協力し合ってコロナ禍に屈せず、文化協会の全会員が丸となって挑み、より充実した感動的な文化祭と成るよう頑張ってください。

今回の会報172号には、生活文化部門の方々に、ご投稿をいただきました。ご協力に心より感謝いたします。

また嬉しいことに、文化協会団体に、文芸部門「ずいひつ」の6名様が、新規加入してくださいました。おかげで、文化協会全体の志気も、より高まることでしょう。更に新規会員が加われば、鹿沼の多様な文化の輪が広がり、文化活動の発展へと繋がっていくと、確信しております。

これからも次世代に向け、鹿沼市文化協会が、より魅力的なコミュニティと成りますよう、努めて参る所存でございますのでどうぞ宜しくお願い致します。(寺崎昌子)

編集委員会

黒川 榮三 板橋 和子 寺崎 昌子
小林 夏江 斎藤千恵子 大貫 宗正